

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	りーぶる		
○保護者評価実施期間	2026年3月2日		2026年3月27日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	30	(回答者数) 15
○従業者評価実施期間	2026年3月2日		2026年3月27日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月30日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	【安心感】に関する評価項目において、多くの高い評価を得ることができた。当事業所では、家庭的で落ち着ける環境の整備に努めるとともに、子どもさん一人ひとりの特性に応じた関わりを重視しているため、安心して過ごせる環境の形成につながっているものと認識している。	集団の中で一人ひとりに役割があり、助け合いの大切さを学んで頂ける考えの元に日々活動している。その中で多くの相手を思いやる気持ちが育まれ子どもさん同士が、信頼し合い楽しく過ごせているようだ。	今後は現在の取り組みを継続するとともに、子供さん一人ひとりの特性やニーズの変化に応じた支援内容のさらなる充実を図っていく。また、児童同士の関わりの中で育まれる思いやりや協調性をより一層引き出せるよう、主体的に参加できる環境づくりを推進していく。
2	当事業所では日頃より送迎時や連絡帳等を活用し子どもさんの様子や体調、発達状況について情報伝達を行っている。「子どもさんの状況に関する情報共有」において、高い評価を得ることができた。	職員間でも情報共有を行い、子供さんの状態や保護者の方の不安な点について共通認識できるようにしている。また、月1回の職員会議や日々のミーティングなどで議題として出させていただき解決できるよう話し合いを行っている。	継続して送迎時や連絡帳などを用いて保護者との情報共有を行い、信頼関係を築くことができるようにしていく。
3	当事業所では、お出かけや様々な行事の体験等に重きを置いている。「事業所活動プログラムが固定されないように工夫されている。」の質問では、良い回答を多くの方から頂けた。	季節感を感じられるような花見や餅つき大会(保護者も参加可能)などを開催したり、子どもさんたちが楽しいと思えるように様々な公園やお出かけスポットに行ったりと取り組みを考えている。また、8月にはお泊り会もあるため学校の行事のための事前体験ができるため保護者の方からは好評である。	今後も季節行事等の取り組みを継続し、子供さん一人ひとりの笑顔を引き出せるよう努めてまいります。そのために、職員一人ひとりが創意工夫を重ねながら、子どもの最善の利益につながる支援の提供を目指し、より一層精進していく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会を得ることが難しい。	聴覚敏感な子どもさんも多く、音や周囲の刺激に対して個別の配慮や調整が求められる場面が少ない。他の子どもさんとの交流を進めるには、安心して参加できるよう段階的な取り組みが重要である。事前の説明や環境調整などを含め時間と準備が必要。	社会とのつながりは非常に大切だと考えているため、外出の機会を増やしつつ、地域の中で活動できるような取り組みを工夫していく。また、系列事業所との活動も積極的に取り入れながら、他の子どもさんと関わる機会を広げていく。
2	保護者交流会やきょうだい同士の交流会の開催においては、「わからない」や「いいえ」と回答された保護者もいらっしゃるため周知が不十分であったと感じている。	季節行事や作品展等も通して保護者間の繋がりを促進してきたが周知が行き届いていなかった。	今度については、早急にお知らせを出してSNSでも発信できるように準備をしていく。きょうだい同士の交流は運動会や餅つき大会など行事などで繋がりができるようにしていく。
3	定期的なホームページやSNS等で活動の情報が発信できていない。	SNSは更新できているがホームページはこまめな更新ができておらず、子どもさんの活動を写真を通して見ることができていない。	ホームページの更新が滞っている要因として、日常業務の中で優先順位が下がっていることが考えられる。計画的に情報発信を行う体制を整える。また、保護者がお子さんの活動の様子を視覚的に把握できるよう、写真を中心とした記事作成を意識し、継続的な情報発信につなげていく。